

# R5野生いのししの豚熱等感染状況調査

## 検体材料採取及び送付マニュアル

### 【はじめに】

- 国内において、豚熱の感染は現在も拡大しており、広島県においても令和4年3月21日に大竹市の野生いのししで初めての感染が確認されて以降、23件の発生が認められています（令和5年5月15日現在）。
- 豚熱ウイルスに感染したいのししは、唾液や涙や糞尿中にウイルスを排泄するほか、血液や臓器にもウイルスが含まれます。
- 糞尿等の中のウイルスは、室温（20℃）では、数日から2週間生存します。
- いのししを捕獲、採材する場合は、専用の衣類や長靴等を着用し、到着、捕獲、採材、処理、運搬、帰着の一連の行為において、身体や器具の消毒を行ってください。

（採材に関することを記載）

### 1 出発前の準備

- (1) 採材道具※の準備
- ※●委託業者から届く資材
  - 各自で準備をお願いする資材
- (注意) 郵送して資材がなくなった場合は、業者に連絡し、再度資材を受け取ってください。
- 採材セット  
(手袋、ゴミ袋、紙コップ、採血管、ピニールテープ、ふき取り用ペーパー)
  - 消毒用スプレー
  - 記録用紙（検体個票）
  - 送付セット（送付用容器、送付用箱、養生テープ）
  - 消石灰（2kg）
  - 写真撮影できるもの（スマホ、カメラ等）
  - 筆記用具



### 2 現地到着時の作業

- (1) 専用の衣類や履物の着用
- (2) 作業に必要な器具・資材の準備
- (3) 採材場所の設定
- 採材のしやすい場所を選ぶ



# R5野生いのししの豚熱等感染状況調査

## 検体材料採取及び送付マニュアル

### 3 検体材料採取 作業手順

#### (1) 荷物置き場の確保

- ①ビニール袋などを敷き、その上に荷物を置く
- ②作業セット（手袋、ゴミ袋、紙コップ、採血管、ビニールテープ、ふき取り用ペーパー）を準備

#### (2) 捕獲いのししの止め刺し

#### (3) 個体の写真撮影

- 個体の全身が写るようにする
- 写真は止め刺し後の1枚でよい（白黒も可）
- 写真は次のいずれかの方法で委託業者に送付する
  - ・写真をA4用紙などに印刷して送付箱に同封する
  - ・印画紙に焼いて送付箱に同封する
  - ・写真ファイルをメールに添付し業者に送付する

#### (4) 捕獲いのししから血液の採取

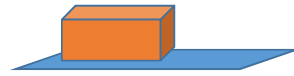
- ①採材セットの手袋を着用する
- ②流出した血液を紙コップに回収する（血液は凝固した部分でも可）
- ③採血管のゴム蓋をあげ、紙コップに回収した血液を採血管に移す（採血管に入れる量は採血管の7割程度）  
（残った血液は、いのしし周辺に戻し、紙コップはゴミ袋へ捨てる）
- ④採血管のゴム蓋をしっかりと閉める（血液が漏れないように）
- ⑤採血管をペーパーで拭く（使用したペーパーはゴミ袋へ捨てる）
- ⑥採血管のゴム蓋が外れないようにゴム蓋部分をビニールテープで補強する
- ⑦手袋に付いた血液をペーパーでふき取りゴミ袋へ捨てる
- ⑧手袋及び採血管を消毒用スプレーで消毒する

#### (5) 個体情報の記録

##### 【留意事項】

- 発見場所
  - ・住所かハンターマップコードか緯度経度のいずれかを選んでください
- ◇住所の場合
  - 小字まで記入する。
- ◇ハンターマップメッシュコードの場合
  - 採材場所のコードを記入する。
- ◇緯度経度の場合
  - （検索例）スマホのマップアプリの現在地を長押しする

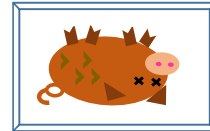
#### (1) 荷物置き場の確保



#### (2) 捕獲いのししの止め刺し



#### (3) 写真撮影

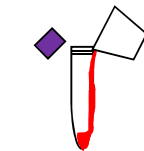


#### (4) 血液の採取

##### ②血液の回収



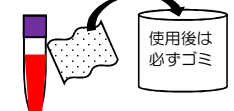
##### ③採血管に移す



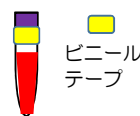
##### ④ゴム蓋を閉める



##### ⑤採血管を拭く



##### ⑥蓋を補強する



##### ⑧消毒する



#### (5) 個体情報の記録

##### 【緯度経度検索例】

##### ①マップアプリ立ち上げ

##### ②現在の場所を長押し

##### ③緯度経度を転記

# R5野生いのししの豚熱等感染状況調査

## 検体材料採取及び送付マニュアル

### 4 採材後のいのししの処理

- 採材後の死体の処理については、各市町の方針に従い、処理してください
- 豚熱ウイルスの感染拡大防止のため、血液等の周囲への流出等に注意して作業してください
- 消毒方法等はリーフレットを参考にしてください

#### 【埋却の場合】

- いのししが入る十分な深さの穴を掘り、埋却する  
(深さの目安：いのししの上に1m覆土できる程度)

#### 【焼却の場合】

- 血液等が漏れないように、いのししの死体をブルーシート等に包んで運搬する

#### (1) 埋却の場合

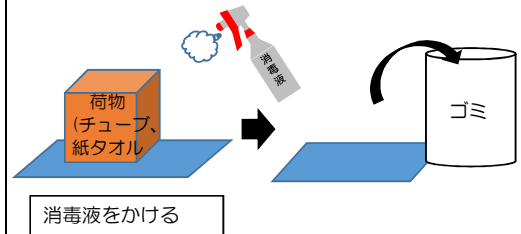


#### (2) 焼却の場合



### 5 撤収時の作業

- ①荷物を置いた状態で、荷物と、荷物の下に敷いているビニール袋に上から消毒液をかける
- ②下に敷いていたビニール袋をゴミ袋へ捨てる
- ③ゴミ袋の中のものには触れないように、ゴミ袋の口を軽く縛り、ゴミ袋を持ち上げて全面に消毒液をかける



# R5野生いのししの豚熱等感染状況調査

## 検体材料採取及び送付マニュアル

### 6 荷物の送付※

※送付用箱・送付容器は、繰返し使用しますので、誤って廃棄しないように注意してください。  
※送付用箱・送付容器に直接記載しないでください。

#### (1) すぐに郵送する場合

- ①送付セットから送付容器を取り出す
- ②送付用容器内の緩衝材の間に採血管を入れる
- ③送付用容器の蓋をしっかりと閉め、消毒用スプレーで消毒する
- ④消毒後、送付用容器と検体個票を送付用箱に入れ、養生テープで封をする（1か所でよい。ぐるぐる巻きにしない）
- ⑤送付用箱を消毒用スプレー等で消毒する
- ⑥送付用箱は袋などに入れずそのまま近くの配送業者に持ち込み、クール便、チルド便など冷蔵で環境保健協会に着払いで郵送する  
※配送業者によっては、安全確認証明書の提出が必要となる場合がありますが、県畜産課で準備します

- 配送業者：郵便局、ヤマト運輸、佐川急便
- 送付日：原則日曜から木曜午前中までであればその日のうちに発送（平日日中到着指定）
- 送付先：〒730-8631  
広島市中区広瀬北町9番1号  
（一財）広島県環境保健協会  
担当者 下西、和田
- 伝票の品名：いのしし資材
- 伝票の貼付場所：  
「UN3373」と記載のある面以外の面に貼付してください。
- 方法：クール便、チルド便など冷蔵（保冷剤不要）
- 料金：着払い

#### 【郵送手順】

##### ①送付容器を取り出す



縦12cm  
横10cm  
高さ17cm

##### ②送付容器内の緩衝材の間に採血管を入れる



##### ③送付容器と検体個票を送付箱に入れる



【注意！！】  
この面には、伝票をはらないでください。



#### (2) すぐに郵送しない場合

※持ち帰った採血管（血液）は、郵送するまで、冷蔵保存（1週間程度まで可）する。  
（凍らないようにお願いします）  
複数の採血管をまとめて送付することも可能です。  
ただし、その場合は検体と記録用紙に番号をつけてください。  
送付方法は、（1）すぐに郵送する場合と同様

### 7 資材の返還

事業終了後の資材の返還については、次のとおり対応してください

- (1) 返却：委託業者に郵送してください
- (2) 方法：非冷蔵、着払い
- (3) 対象：
  - ア 資材を使用した者
    - ・送付用箱、送付容器、採血管
  - イ 資材未使用者
    - ・送付した資材全て